

昇降式移動足場

『ラックステージ 3.6』

TSE-36

取 扱 説 明 書



リーラック機材株式会社

本 社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-2-1
TEL.03-3667-7279
FAX.03-3667-7280

この度は、昇降式移動足場『ラックステージ 3.6』を御買い上げ
頂きまして、誠にありがとうございます。

『ラックステージ 3.6』をご使用される前に、取扱説明書をよく
読み指示に従って使用して下さい。

【目次】

| | | |
|-------------|-------|---|
| ■ご使用上の注意 | | 2 |
| ■製品仕様 | | 3 |
| ■作業を行う前に | | 4 |
| ■立上作業 | | 6 |
| ■バネバランスについて | | 8 |

■ご使用上の注意

●使用される前に

- ・作業者は安全に作業を行う為の教育を行って下さい。
- ・複数人で作業を行う場合は、作業指揮者を決め指揮者に従い安全に作業を行って下さい。
- ・作業中は保護帽・安全帯を着用し必要に応じて作業に必要な照度を確保して下さい。

●注意すること

- ・『ラックステージ』は作業床が最大で3.6mまで上昇します。一人での積下しや昇降作業は危険を伴いますので決してしないで下さい。
- ・作業床への最大積載荷重は作業者を含め1323N(135kgf)です。搭乗作業が出来る人員は一名のみです。作業床への過積載は絶対にしないで下さい。
- ・予め、現場の床面等の状態を確認し水平に近い場所で立上作業を行って下さい。
- ・キャスターは四方とも自在に移動する為、運搬・移動する際は周辺の壁や柱など構築物等に接触しないように注意して下さい。
- ・立上作業や収納時は昇降枠・タラップ枠のバチン錠で必ず固定し、作業を行って下さい。
- ・複数機材による作業床から足場板での橋渡しなど行わないで下さい。
- ・目的以外の用途では絶対に使用しないで下さい。

⊘ 禁止事項

- ・運搬や移動時は原則として作業床を最低高さに降下させ行います。作業床を上昇した状態や人が乗ったままの移動は危険ですので、絶対にしないで下さい。
- ・本機材立上作業中に、作業区域内に入ったりスライド部や昇降部内に手や指などで触れますと、重大な事故につながる恐れがありますので絶対にしないで下さい。
- ・作業床での、脚立や梯子等の使用はしないで下さい。

●保管

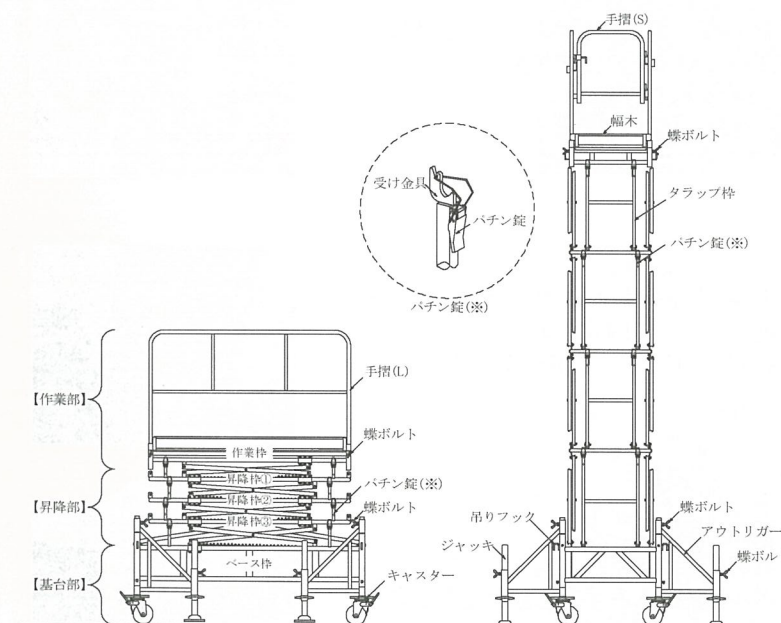
- ・保管は原則として屋内保管とし、無理な場合はシート等により養生して下さい。
- ・特に、スプリングやスライド部の管理に十分注意して下さい。

指示以外のご使用における事故の責任を当社が負う事が出来ません。

(2)

■製品仕様

| | |
|------------------|---------------------------------------|
| 作業床寸法 | 幅 590 mm × 長さ 1500 mm (手摺高さ : 905 mm) |
| 作業床高さ (5段階調節) | 最高地上高さ 3600 mm |
| | 4段目 3055 mm |
| | 3段目 2470 mm |
| | 2段目 1885 mm |
| | 最低地上高さ 1335 mm |
| 最大積載荷重 | 135kgf (作業者を含む) |
| 自重 | 約 240kg (手摺・幅木材を含む) |
| 昇降装置 | 手動式 (バネバランス式) |
| 表面処理 | 溶融亜鉛メッキ |
| 移動車輪 | 材質 : ゴム 直径 : φ150 (キャスター方式・ストッパー付) |



(3)

■作業を行う前に

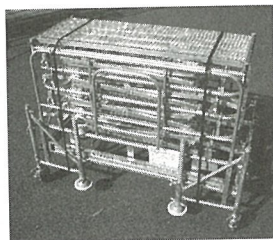
- 作業指揮者は作業員に保護帽・安全帯の着用を確認し、作業内容・安全上の諸注意を説明し作業を行って下さい。

【保管】

- ・移動・保管時はゴムバンドにて本体を梱包して下さい。

【移動】

- ・ユニックで吊り上げる場合、ベース枠の吊りフックにスリングやワイヤーを掛けて吊り上げて下さい。
- ・荷締めすぎて機材が変形を起こさぬよう注意して下さい。
- ・ロープやラッシング等で荷台にしっかりと固定し荷崩れなどに注意して下さい。



【本体移動】

- ・設置場所に着いたらゴムバンドを外し、キャスターをロックして下さい。



【アウトリガー設置】

- ・蝶ボルトを解除しアウトリガーを広げ再度蝶ボルトで固定します。
- ・ジャッキを下げ高さ調節をします。



【手摺L設置】

- ・作業枠側面に手摺Lを差込みます。
- ・蝶ボルトを締込み手摺Lを固定させます。



(4)

【手摺S設置】※立上前

- ・手摺L側面の取付パイプに差込みます。
- ・手摺L中側に手摺Sの差込フックを掛け立上作業を行います



【手摺S設置】※立上後

- ・手摺Sを乗込口側に回転させ、差込フックを手摺Lに設置させ固定します。



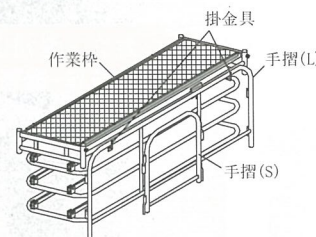
【幅木設置】

- ・幅木を傾けながら片方の差込金具を手摺Lに取付ます。
- ・もう片方を下げながら取付金具を手摺Lに設置させます。

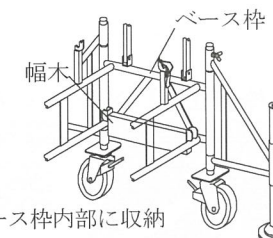


【手摺・幅木収納箇所】

- ・移動保管時など使用しない手摺・幅木はそれぞれの本体収納箇所に設置して下さい。



手摺収納箇所



※ベース枠内部に収納

幅木収納箇所

(5)

■ 立上作業

【作業枠立上】 ※作業床高さ:1885^{mm}、
下部昇降枠①のパチン錠を解除し作業枠を
持ち上げます。

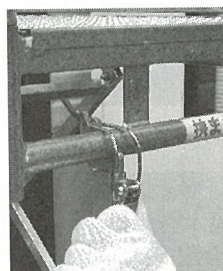


《注意》

- ・昇降部立上の際は、必ず指定された方向
（『こちらを持って上げて下さい』シール添付側）
より作業を行って下さい。逆方向より作業を行いま
すと、スライド部が変形する恐れがあります。

【タラップ枠固定】

内部に折畳んだタラップ枠を起し、パチン錠
にて作業枠に固定して下さい。



《注意》

- ・以降の昇降作業を行った際は必ずパチン錠で
昇降枠を固定して下さい。

【昇降枠①立上】 ※作業床高さ:2470^{mm}、
下部昇降枠②のパチン錠を解除し昇降枠①を
持ち上げます。



【昇降枠②立上】 ※作業床高さ:3055^{mm}、
下部昇降枠③のパチン錠を解除し昇降枠②を
持ち上げます。



(6)

【昇降枠③立上】 ※最高床高さ:3600^{mm}、
下部ベース枠のパチン錠を解除し昇降枠③を
立ち上げます。



【乗込みと資材等搬入】

- ・墜落防止器具のフックをベルトにしっかり掛け、足元を良く確認して
搭乗して下さい。

【折畳み作業】

- ・作業床の折り畳み・収納は前項の逆手順を行って下さい。
『こちらを持って下げて下さい』シール添付側

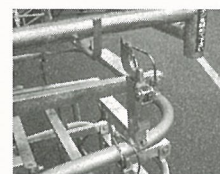
【作業終了後】

- ・作業床を降下させる際には、キャスターのブレーキが掛かっているか
確認をし、周囲の状況を確認して作業を行って下さい。
- ・急に昇後部を降下させますと、受け金具の破損や変形する恐れが
ありますので、ゆっくりと確実に降下作業を行って下さい。

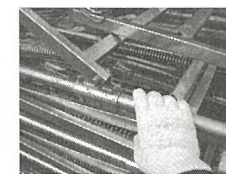
【折畳む際の注意】

以下のことに注意して作業を行って下さい。

- ①パチン錠が確実に解除されているか確認して下さい。
（パチン錠が破損・変形する恐れがあります。）
- ②昇降作業中スライド部に手を置かないで下さい。
（指詰めや怪我をする危険があります。）
- ③折畳んだ後はパチン錠で枠を確実に固定して下さい。
（運搬・昇降作業中に跳ね上げる危険があります。）



①



②



③

(7)

■ バネバランスについて

・『ラックステージ』はバネバランス式による昇降動作を行う為、事前にバネ調節を行っております。

【引張バネ】

・気温の変化により引張バネ強さが変化することがありますので、使用前に十分動作確認を行って下さい。

【昇降作業】

・昇降作業を行う前は必ず手摺や幅木など作業床に必要な部材を取付けて行って下さい。

《手摺・幅木を設置していない場合》

上昇時、スプリングが効きすぎ跳ね上がる危険があります。

《手摺・幅木以外の積載がある場合》

折畳みの際に、下降スピードが上がりすぎる危険性があります。